

令和7年度使用教科用図書調査に関する合同報告会議事録（第1日）

令和6年7月26日（金）13:00～
ユーアイ帆っとセンター 交流スペース

1 開会

2 開会あいさつ

3 協議事項

令和7年度使用中学校用教科用図書加印地区共同調査員会からの報告及び質疑応答

(1)国語

①班長からの報告

②質疑応答

委員：「表記や表現について文書や挿絵等の使用が適切であるか」で、三省堂以外3社に△がついているが、この3社はなぜやや劣るのか。

班長：三省堂の教科書は、現在使われているものに比べると、デザインや写真が今までにない色使いであった。色使いが今まで通りだった他の3社に比べ、三省堂がやや際立っていたように感じられたので、他の3社に△をつけた。

委員：国語の教科書4社とも、懇切丁寧にいろんなことが書いてあり、流れのポイントがわかるように工夫してあったり、二次元コードの活用があったりという報告をされたが、国語科の教師が、生徒にじっくりと読ませたい、考えさせたいという思いがあっても、教科書の中に様々な表現があれば、目がそちらに散ってしまい、内容をゆっくり読んで味わうことができないのではないかと。いろんな工夫があればあるほど、その部分に目が移ってしまって、気が散ってしまうのではないかと。挿絵もたくさんあればあるほど良いわけではなく、挿絵から背景を思い込み理解してしまうことがあると聞いたこともある。国語の教科書を選定するにあたって、この点をどのように考えるか。

班長：確かに、教科書の中にいろいろな情報がありすぎると思う。生徒は教師の話をお聞きせず、違う方向に理解することもある。ただ、教師の側からすると、今いろいろな資料集やワークブックと一緒に持たせている中で、それらが教科書の中にまとまっているのであれば、余計なものを購入する必要がなくなる。また、昨今は、教科書の二次元コードからデジタルコンテンツ資料を大画面に表示することができるので、教師の使いやすさという点から、非常に便利な教科書になっていると感じる。しかし、じっくりと読ませるという面

について、教科書の中に多くの情報があるのが正解なのかと言われれば、そうではないと思う。読書離れが非常に進んでいる中、国語の時間とは別に、何かしら生徒たちに興味を持たせて、より読書に親しめる時間を確保できたらと考える。

(2)書写

①班長からの報告

(3)社会・地理

①班長からの報告

②質疑応答

委員：4社の比較のポイントとしてふりがなについて出てきた。合理的配慮から必要とも考えられるが、調査員会の方では、ふりがなについてどんな話をしたか教えてほしい。

班長：多過ぎても見づらく、なさ過ぎても学力的に読みづらい生徒がいる。バランスがとれているのは3社で、東京書籍はやや少ない。

(4)社会・地図

①班長からの報告

②質疑応答

委員：社会の教科書と地図との関連で、同じ出版社なら役立つようなコンテンツが、地図帳とリンクしていることが多いのか。

班長：帝国書院のジオグラフというのは非常に秀逸なコンテンツで、活用しやすいが、帝国の教科書からでないといけないというものではない。東京書籍の、所々にある二次元コードをよむと写真が出てくるのは、今まであまりなかった形式だが、地図帳を見て、その地域がこういった地域なのか、雪国のところであれば、山間のところであれば、こういった風景になるというようなことも確認がしやすいので、このようなリンクは良い。また、教科書と地図帳を併用して授業を行うが、教科書である程度完結していると、興味のある生徒はここで自分からプラスして地図帳を使う。授業で地図帳の何ページを開けなさいというやり方を、最近の先生はあまりしていないと感じる。生徒の意識が教科書と地図帳で分散するよりは、興味のある生徒がより深めるための補助的な資料として地図帳を使うイメージではないか。

(5)社会・歴史

①班長からの報告

(6)社会・公民

①班長からの報告

(7)音楽・一般

①班長からの報告

②質疑応答

委員：伝統的な音楽の学習を通してという部分で、2社とも同じ評価になっている。力を入れて、取り組み始めている学校も増えてきていると思うが、2社の取り上げ方について、もう少し詳しく教えてほしい。

班長：教育出版社の方は資料が多く、演奏法など大変大きな資料で生徒の興味関心を引きやすいが、限られた授業時間の中で、取捨選択する教師の力量が必要になってくる。デジタルコンテンツも教育出版社の方は豊富であり、二次元コードでいろいろな資料を見ることができるのが特徴である。教育芸術社の方は、良い意味で広く浅くと、あらゆるジャンルを網羅しており、わかりやすくシンプルである。教育出版社ほど資料が豊富ではないが、生徒が整理しやすい内容になっている。

(8)音楽・器楽

①班長からの報告

(9)理科

①班長からの報告

②質疑応答

委員：デジタルコンテンツが豊富になることはいいことだと思うが、理科の場合、デジタルコンテンツは良くなればなるほど実験観察を行わなくてもよくなるという問題が出てくると思う。この点について、調査員会で、コンテンツと実験観察の重要性についてのお話が出たのなら教えてほしい。

班長：調査員は理科の教師ということで、物事を体感、実感するために、実験観察を行うことを大前提で話を進めている。その中で、実験観察だけでは当然想像できないこともあるので、そこを補充するための資料、補助的な資

料、または動機付けの資料として話を進めた。大前提として、実験観察実習等がまず大事だということは、調査の中でも、最初に確認をしている。

4 連絡事項

5 閉会